



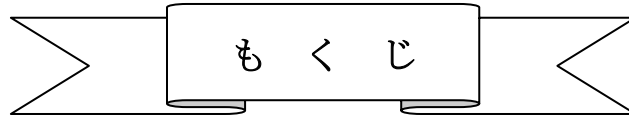
入門のしおり



2018 年度

甲南大学経済学会





まえがき	1
I 経済学部へようこそ	3
各経済学部教員（五十音順）	5
II 経済学部の先生方に質問（五十音順）	27
III 新入生へのメッセージ	75
私からオススメする2つのこと 吉岡湧稀	77
「ようこそ経済学部へ」 藤瀬 亘平	
IV 新入生のみなさんへ	79
甲南大学経済学会について	81
V 甲南大学経済学会会則	87
総会規程・評議員会規程	89
卒業生会員細則	90

まえがき

入学生のみなさん、甲南大学経済学部へのご入学おめでとうございます。みなさんは、本学に入学し、経済学部生となると同時に、規約によって、《甲南大学経済学会》の会員となることになっています。みなさんが手にしたこの小冊子は、新入生を対象として作られた経済学部への案内書です。

この小冊子は、みなさんが経済学を学んでいく実際のある場を構成する甲南大学経済学部の教員、学生、そして、卒業生の方々の声で「経済学とその周辺を語る」という内容になっています。新入生のみなさんは大学に入学したばかりでまだ経済学部のことがよくわからないと思いますので、この冊子を読んでぜひ参考にさせていただければと思います。

『Ⅰ 経済学部へようこそ』では、経済学部の先生方に様々な視点から、新入生の皆さんへメッセージをいただいています。先生ならではの経験から得た言葉が、皆さんのこれから始まる大学生活の糧になればと思います。

『Ⅱ 経済学部の先生方に質問』では、経済学部の先生方から、素朴な質問に対する答えをいただいています。このページを見ることで、甲南大学経済学部の先生がどんな方々であるのかということが少しはわかるのではないのでしょうか。「あの先生がこんな回答をしている」といった意外な発見ができるかもしれませんし、講義やゼミナールを選択する際の参考になるかもしれません。

『Ⅲ 新入生へのメッセージ』では、甲南大学経済学部を卒業された方々からメッセージをいただいています。みなさんの先輩方はどのようなことをおっしゃっているのでしょうか。

『Ⅳ 新入生のみなさんへ』では、「甲南大学経済学会」という組織について紹介しています。甲南大学経済学会とは、経済学部の教員・学生・卒業生が対等の権利を持って運営している自治組織です。新入生のみなさんの中には、「経済学会という組織はまだ何のことかわからない」という人が多いかもしれません。そこで、「経済学会ってなんだろう？」というみなさんの疑問に対して、経済学会の具体的な活動やみなさんの交流の場である「経済コモンルーム」についても紹介しています。

はじめから読んでいく、好きなところだけ読むなど、利用方法はみなさんの自由です。この小冊子がみなさんの大学生活の手助けになれば幸いです。

2018年4月

甲南大学経済学会
評議員編集委員一同

経済学部へようこそ！

青木 浩治先生	5	小山 直樹先生	16
足立 泰美先生	6	柘植 隆宏先生	17
石川 路子先生	7	筒井 義郎先生	18
石田 功先生	8	寺尾 建先生	19
市野 泰和先生	9	中島 清貴先生	20
稲田 義久先生	10	林 健太先生	21
上島 康弘先生	11	平井 健介先生	22
永廣 顕先生	12	村澤 康友先生	23
岡田 元浩先生	13	森 剛志先生	24
奥田 敬先生	14	森本 裕先生	25
高 龍秀先生	15		



新入生の皆さんへのメッセージ

青木 浩治

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはどのような抱負を持って入学されましたか？あれもこれもとやりたいこと一杯の人から、まだ何も決めていない人まで様々でしょう。しかし、まずやるべきことは友達作り。この作業に失敗すると、大学4年間はずまらない時間となり、大学生生活不適應者に陥ってしまうと言っても過言ではありません。

第二に強調したいことは、大学4年間はあっという間に過ぎてしまうということです。このことはみなさんの先輩が異口同音に言っていること。言い換えれば、大学生活はとても楽しく、おそらく人生において最も有意義な期間だということです。そのための仕掛けが大学にはあちこちに用意されています。なにもせずボーっと4年間を過ごした人は社会に入る手前でイエロー・カード、場合によってはレッド・カードが突き付けられます（その意味はやがて分かってきます）。意識して「大学でこんなことした、あんなことした」と胸を張って言えることを見つけて下さい。ただし、アルバイトはほどほどに……。

第三に、当然のことなのですが、自分の規律付けを怠らないようにしましょう。これまで親や先生の言われる通りしていればよかった時期はもうおしまい。大学では所定単位の修得以外に学生に課される制約は特にありません。その意味でかなりの程度自由なのですが、同時に選択の結果に対する責任を強く要求されます。自由には責任がついて回ることを意識しましょう。その訓練をする場が大学生活です。そして第四に、社会常識を付けること。犯罪行為は論外として、やってよいこととそうでないことのケジメを付けるようにしましょう（喫煙マナーがその一例）。

いずれにせよ、皆さんの4年間が有意義であることを切に願っています。

新入生の皆さんへのメッセージ

足立 泰美

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆さん4年間の大学生活、これまでの学業生活とは異なる点が幾つもあります。その1つがスケジュール管理です。今までは、学校から決められた時間割りをこなす毎日だったのではないのでしょうか。1時間目は数学、2時間目は国語といった時間割りが既に組まれた小学校、中学校そして高校生活。しかし大学生活は違います。スケジュールは真っ白です。その白紙のスケジュールに、自分だけの予定表を創り出していきます。

まず受講科目の登録が最初にあります。学士を取得するために、最低でもどの科目を、何単位履修しなくてはいけないのか。1年目には何を修めておかねばならないのか、2年目にはどの科目を選択しておくのがよいのか、3年目は1年目と2年目で培われた知識をどう発展させていったらいいのか。シラバスを読み進めながら大学の所定の規定を理解し、興味のある科目、勉強してみたい科目もしくは単位のとりやすい科目を調べ、選択し、そして自分だけの唯一の時間割を作成します。その時間割を踏まえて、アルバイトや多様なサークル活動などのスケジュールを入れていきます。

一日、一週間そして一月、自分が決めたスケジュールで生活を繰り返し送り、大学生活から就職に視点を向ける時には、この時間の積み重ねが、おもいおもいの力となります。そこには一日24時間という制約された条件のなかで、自分の拘子定規で何に時間を投入するかを選択し、一定の成果を見いだそうとします。つまり、自分の選択が大学生活4年間の学業の蓄積と多様な見識となり、将来への道に繋がる原動力となります。

どうぞ新入生の皆さんが、この4年間を有意義に過ごし成長することを切に願っています。

自立する力を身につけよう

石川 路子

大学に入学し、新たなスタートを迎えた皆さんは今どのような気持ちを抱いているでしょうか。勉強や部活動に全力で取り組もうと意欲を燃やす人もいれば、受験勉強から解放されて思い切り「自由」を楽しもうと思っている人もいるかもしれません。大学ではさまざまな自由を手にすることができます。今から4年後の自分を想像することは難しいと思いますが、その自由をどのように活用するかによって、皆さんの将来は大きく変わってきます。ぜひこの貴重な時間を有効に使ってくださいね。

ところで、皆さんは「自立していますか?」と問われたとき、どのように答えるでしょうか。「学費や生活費を親が負担してくれているから自立していない」という学生もいれば、「アルバイトで稼いでいるから自立している」と答える学生もいるかもしれません。

国語辞典で調べると、自立とは「他への従属から離れて独り立ちすること。他からの支配や助力を受けずに、存在すること。」という意味を持ちます。もちろん、金銭的な援助がなくても自分の力で稼ぎ生活していくことができることも自立です。しかし、より大きな意味では「他者に依存せず、自分自身の力で道を切り開いていくことができる」ことが自立につながります。大学生活を通じて皆さんが身につけておくべき力は、自分で考え、選択し、決定していくという、まさに「自立する力」なのです。

大学では、自由を手に入れることができる分、自分自身で選択、決定しなければならぬ機会が増えていきます。その際に必要なのは自分が目指すべき理想の姿です。人は自身の理想像を他者から学んでいきます。「あんな先輩になりたい」「こんな職業につきたい」自分の理想の姿をより具体化するためには、できるだけ多くの人々と交流することは必要不可欠です。

皆さんが自立するためにも、そして将来の夢を実現させるためにも、大学生活はさまざまな機会を与えてくれます。大学生活は皆さんが大きく成長できるチャンスです。ぜひ皆さんが充実した大学生活を過ごされることを願っています。

大学での「研究」

石田 功

大学での学業はこれまでとはどう違うのでしょうか？いろいろありますが、ひとつには大学では「研究」のウェイトが大きくなることがあげられます（いきなりではないですが上級生になるにつれ）。国語辞典で「研究」を引くと、

1. 物事を学問的に深く考え、調べ、明らかにすること。
2. 単に、調べること。

とあります（岩波国語辞典第3版より。私が付番）。例えば、これまでも「夏休み自由研究」で何かのテーマについて本やネットで詳しく調べるといふ課題には皆さんも取り組んだことがあるでしょう。そこでもテーマや教材の選定等、主体的な学習が求められ、特定の知識自体の習得よりも、知識を得るためのスキルの習得が目的だったと思いますが、上記2の意味での「研究」にとどまる場合も多かったのではないのでしょうか。

一方、学生による研究も含めて、大学でいう「研究」は1の意味での研究が中心になります。大学の使命のひとつには「知のフロンティアの拡張」があります。つまり、研究により、これまで誰も知らなかった新たな事実の発見や新たなものごとの見方を蓄積することです。それは大袈裟に聞こえるかもしれませんが「人類の財産」としての蓄積の作業で、厳格な科学的手続きに従うことが求められます。単に自分自身の知識を増やすための学習（インプット）ではなく、知の生産（アプトプット）活動なので、2の意味での研究とは発表の仕方も違ってきます。皆さんの2年次後期以降の少人数クラスのゼミでの「研究」が1の意味での研究であることは言うに及びませんが、ひとつの科目の簡単なレポート課題であっても1の意味での研究の準備だと理解できれば取り組み方も全く違ってきます。早い段階で「研究=2の意味」から、「研究=1の意味」に意識を移行させることが出来れば、4年間の学業もより充実したものになるでしょう。甲南大学経済学会のウェブページで、皆さんの先輩がゼミで取り組んだ研究の具体的なテーマや内容について知ることができるので、是非、参考にして下さい。

僕らはどんどんダメになる？

市野 泰和

2006年12月12日、読売新聞から配信された記事をちょっとだけ引用します。

「各地の公立図書館で、雑誌などから写真や記事を切り取ったり、専門書に蛍光ペンで線を引いたりするなど、図書を傷つける行為が増加している。(中略) 公共の財産を傷つけてはいけないという最低限のルールを破る行為の横行に、図書館側は『社会全体のモラル低下の表れでは』とため息をついている。」

この記事で図書館の人たちが嘆くように、社会全体のモラルは、低下してきているのでしょうか。時代が進むほど、人々のモラルは低くなるのでしょうか。って、そうだとすると、昔の人は、今よりもずっと徳が高かったということなのかな？ 縄文時代の人とか。土器？ どんどんあげちゃうよ、いくらでも持ってっちゃっていいよ、なんてね。まあ、縄文時代の話はさておき、僕らは、どんどんダメな人になっていってるのでしょうか。そうなら、それはとても悲しいことですよ？

なので、ここはひとつ、そうじゃないかも、と考えてみましょう。社会全体のモラルはまったく低下していない、と想定してみましょう。それで、「図書を傷つける行為が増加している」という現象を説明することはできないのでしょうか。

例えばこんなの。「公共の財産を傷つけてはいけないというルール」を守れない人は、残念ながら、いつの時代も人口の一定割合はいます。もしかしたら、最近の図書館は、昔の図書館よりも、そういう人々を図書館に来さしてしまうようなものになってしまっているのかもしれない。あるいは、図書館に来る人々のタイプは昔と同じとしても、最近の図書館では、昔の図書館よりも、「公共の財産を傷つけてはいけないというルール」を守らせるようなしくみが、うまく機能していないのかもしれない。つまり、変わったのは人々のモラルではなく図書館だったとしても、「図書を傷つける行為が増加している」という現象は説明可能なのです。

人々の性質が変わったから、という理由で、人々の行動が変わったことを説明するのは、とにかく簡単です。そんなの、いつでもできます。だからこそ、そういう説明は、できる限りしないでおきたいのです。最後の手段にとっておきたいのです。人々の性質ではなく、人々を取り囲むもの、環境で、何か変わったものはないかを考えてみましょう。それで、人々の行動の変化を説明できないのでしょうか。正しいか間違っているかはさておき、つねに、人の内側ではなく、人の外側に、行動の変化の理由を求めること。これが、経済学の基本的な態度です。

関西経済の展望を明るくする二つの輸出

稲田 義久

筆者の専門領域の一つは経済予測である。超短期予測の手法を用いて週次ベースで(1-2 四半期先の)日本経済の予測を、マクロ計量モデルを用いて四半期ベースで日本経済の(先行き 2-3 年の)短期予測を、また同時に関西経済の短期予測をアジア太平洋研究所(APIR)で定期的に行っている。2018年の関西経済を見通すうえでの興味あるポイントを紹介したい。

最新の関西経済短期予測の結果によると、関西の実質 GRP(域内総生産)成長率を 2017 年度+1.8%、18 年度+1.4%、19 年度+1.1%と予測している(<http://www.apir.or.jp/ja/research/asis-economy/6016/>)。日本経済予測と比較すると、2015-16 年度の回復の立ち遅れから転じて 17 年度以降は全国を上回る成長率で推移する見通しである。内需の寄与は日本経済予測とほぼ同じであるが、外需はアジア向けを中心とした財輸出の伸びが旺盛なことと純移出(関西以外の他府県に対する移出ー関西への他府県からの移入)の貢献から、全国よりも寄与が大きくなる。

先行きの関西経済を考えた場合、成長率は徐々に減速していくが、内需、外需バランスの良い成長パターンが続く。特に民需が減速していくなかで、外需が景気を下支えするのが特徴である。外需(除く純移出)については、財輸出とともにアジア地域を中心とする観光客によるインバウンド需要の効果が非常に大きい。

この予測結果が示すように、関西経済の展望を明るくするのは、アジアへの財輸出とアジアからのインバウンド需要、すなわち二つの輸出の急増である。GDP 統計では、インバウンド需要、訪日外客による財やサービスの購入はサービスの輸出と定義される。例えば、関西の百貨店販売は最近非常に好調であるが、これを日本人と訪日外客向けの販売に分けると、圧倒的に後者の伸びが大きいのである。国内消費は人口減から長期的に停滞するのは必至であるが、訪日外客が持続的に増加することで、関西域内の消費を十分下支えすることができる。インバウンドは関西の成長牽引産業なのであり、この成長を確実にする戦略が非常に重要となる。

私の好きな本から印象に残った言葉を紹介したい。

・マコート著『アンジェラの灰』:

「みんなブドウパンを一所懸命にほじくって干しブドウを探す。でも、ない。ある日、ぼくのパンに一粒の干しブドウがある。ぼくはそれを高々とかかげる。みんなはぼくに、そのブドウをくれという。代わりになんでもやるから。鉛筆をやる、漫画本をやる、トビー・マッキーは妹をやるという。でも、そのとき、部屋の隅に靴なしで立っているパディ・クロヘシーが見える。冷たい地下室で、蹴とばされた犬みたいに震えている。パディのところに行って、その干しブドウをやる。だって、ほかにどうすればよかったんだろう」。

・パラシオ著『ワンダー』:

「だれも傷つけずに中学時代をすごせたら、ホントにイケてるじゃん」。

・中島敦著『李陵』:

「天はやはり見ていたという考えが李陵をいたく打った。見ていないようできて、やっぱり天は見ている。彼は肅然として怖れた。言いたいことは山ほどあった。それを言えば愚痴になってしまう。彼は一言もそれについては言わなかった。ただ、涙が頬をつたわった。めめしいぞと、自ら叱りながらどうしようもなかった」。

・キケロー著『友情について』:

「徳が、徳こそが友情を結び合わせ、そして保っていくのだよ」。

・サリンジャー著『ライ麦畑でつかまえて』:

「僕にはね、広いライ麦の畑があつてさ、そこで小さな子供たちが、みんなでなんかのゲームをしているところが目に見えるんだよ。で、僕はあぶない崖のふちに立ってるんだ。僕のやる仕事はね、崖から転げ落ちそうになったら、その子をつかまえることなんだ。一日中、それだけをやっていればいいんだな。そういったものに僕はなりたいたんだよ」。

・ブロンテ著『ジェーン・エア』:

「わたしは自分が大事だ。孤独であればあるほど、友もなく庇護もなければいほど、ますますわたしは自分を尊重する。わたしは、私が受け入れた道徳を守ろう。法律や道徳は、肉体と魂がそれらの峻厳しゅんげんに反逆したとき、そのようなときのためにあるのだ」。

・池田潔著『自由と規律』:

「人間はすべて先天的に駿馬しゅんめか駄馬だばかに決まっている。その相違がはっきり示されるのは、勝負事に敗れたときの態度である。駿馬は負けても顎あごを落とさない、悪びれた様子を見せない。社会的地位や経済環境が変わっても、駄馬が急には駿馬に化けられない。運動場で見ていると実に駄馬はよくわかるのだが、貴重な時間と学費を空費して、なんのためにあの連中が学校にいるのか」。

* 私の好きな本をコモンルームに置いています。自由に持ち帰って読んでください。

「経済を学ぶ」ということ

永廣 顕

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんはこれから4年間、経済について学んでいくことになりますが、そもそも経済とはいったい何なのでしょう。

私たち人間（ヒト）は、生きていくために必要な財やサービス（モノ）をつくらなければなりません。現代においては、家計（個人）が企業に労働や土地を提供し、企業がモノを生産しています。家計は企業から受け取った賃金など（カネ）でモノを購入し、それを消費して生きています。この状況を「市場経済の成立」と言います。しかし、市場経済はいつもうまく機能するわけではなく、程度の差こそあれ混乱が生じることがあります。そこで、政府が家計と企業をまとめて市場経済を統治しています。この政府の活動を「財政」と言います。このように、経済とは、人間が生きていくための活動であり、それをめぐる家計・企業・政府の相互関係にもとづいたヒト・モノ・カネの動きなのです。すなわち、私たち人間の生活の営みそのものなのです。

したがって、「経済を学ぶ」ことは「生き方を考える」ことにつながると言ってもよく、「生き方を考える」ためには経済について幅広くしっかりと勉強しておくことが必要となるのです。それは、これまでの受験勉強のように正解とされていることをただ暗記するだけではなく、自分自身が置かれている現在の状況と自分自身が進もうとする将来の目標に即して、自分自身にとって何が正解であるのかを追究し続けるということなのです。

もちろん、大学生活においては、勉強がすべてではなく、クラブ・サークル活動やアルバイト、ボランティアやインターンシップ、さらには就職活動なども重要であることは言うまでもありません。これらの活動から学ぶことが多いのも事実です。しかし、経済について体系的に勉強する機会を大学以外の場所で得ることは難しいでしょう。自分の興味や問題関心から専門的な勉強を思う存分できるのは大学での4年間だけなのです。しかもその4年間はあっという間に過ぎてしまうのです。

大学生活のスタートラインに立ったみなさんが、有意義な4年間を過ごせることを心から願っています。

「学生生活の最終段階に達したみなさんへ」

岡田 元浩

甲南大学経済学部入学おめでとうございます。さて、おそらくみなさんの大半にとって「甲南大学経済学部卒業」が最終学歴になることでしょう。つまり、甲南大学での学生生活を完了すれば、みなさんは社会人として巣立っていくということです。ひとたび社会人としての生活が始まれば、みなさんを待ち受けているのは、俗に世間の荒波と呼ばれる厳しい現実です。社会人になったからといって、ご家族をはじめ、それまで皆さんを守り育ててきた人々の支えがいきなり断ち切られるわけではありません。しかし遅かれ早かれみなさんは、矛盾や悲痛、その他あらゆる困難に満ちた世の中を自らの力によって生き抜かねばならぬこととなります。だからといって、私たちが自分1人の力だけで生きることは不可能です。そこで肝腎なのは、強い自立心と正しい認識に立つ他者との協同精神です。甲南大学での学生生活でみなさんに身につけてほしいと思うもの、というよりも身につけるべきものは、つまるところ以上の点に尽きる、というのが私の思いであり、この観点から実際にみなさんと接するよう努めています。私がこう記すと、社会人としての準備が大事だというのであれば、何より就職だ、学業より就職準備優先で1年生時から臨むべきだ、と解釈する人がいるかもしれません。しかし、それはあたかも、もろい土台の上に家を築くようなもので、一時的にはうまくいっても、やがてはくじかれる破目になるでしょう。就職を含むみなさんの将来のためにも、まずは日々の学業を地道に修め、さらには課外活動をはじめ大学時代ならではの体験に打ち込んでください。

講義の単価？—エレガントな答案を求む—

奥田 敬

【設問】

大学における1コマ90分の講義の(学生にとっての)単価を算出せよ。
ただし、単純化のため、4年間の学費総額は教科書代も含めて400万円とし、その間の生活費や、働いていれば得られた収入は度外視する。

【解法1】

全く無駄なく、最小費用最大便益(?)で卒業を目指す。
卒業所要単位数は128単位であるから、
1単位あたりの単価は、 $4,000,000 \div 128 = 31,250$ (円)
半期15週で2単位なので、
 $31,250 \times 2 \div 15 = 4,166.66\dots$

答え 約4,200円

【解法2】

もったいないから(単位制限とは関係なく)聴講しまくる。
1週間30コマならば通年で
 $30 \times 15 \times 2 = 900$ (コマ)だから、
 $4,000,000 \div (900 \times 4) = 1,111.11\dots$

答え 約1,100円

【解法3】

4年分の在籍料と割り切り、出席は(留年も)気にしない。
1日あたりの在籍料は、
 $4,000,000 \div (365 \times 4) = 2,739.72\dots$ (円)
90分あたりに換算すると、
 $4,000,000 \div (365 \times 4) \div 24 \times 1.5 = 171.23\dots$

答え 約170円

(さて、あなたはどれを選びますか？ 別解があればお知らせください。)

新入生のみなさんへ

高 龍 秀

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんを心より歓迎します。新入生になってみなさんは多くの夢と希望を持っていることと思います。大学に入ってその夢に一步ずつ近づいてほしいと思います。

大学に入って、まず、世の中で起こっていることに興味を持って下さい。日本では2012年末に安倍政権が発足し、「アベノミクス」の名の下に日本経済をより良くするための政策がいろいろと議論され実行されています。どのような経済政策を行えば日本がより幸せな社会になることができるのでしょうか。みなさんが就職活動をする頃には日本社会はより良い状況になっているのでしょうか。米国で新しく登場したトランプ政権と日本とどう付き合っていけばいいのでしょうか。いつの間にか日本より経済規模が大きくなった中国とはどう付き合うべきでしょうか。世の中を見渡せば、このような複雑な問題がいっぱいあります。それは仕方ありません。私たちの住んでいる現代社会がとても複雑だからです。

みなさんが入った経済学部ではこの複雑な現代社会について、入門的な課題から1歩ずつ学んでいきます。みなさんの勉強の対象となる現代の経済は複雑ですから、「答えを簡単に求めない」ことが大切です。大学受験までは、「1つの決められた答えにいかにか早くたどり着くか」という勉強スタイルだったと思います。例えば社会系の科目では「覚える」科目が多かったと思います。しかし最初に述べた現代経済の問題では、答えは決まっていないものもあります。また、答えが1つでないものもあります。ですから大学では、基本的な事実を「覚える勉強」とともに、その知識を武器により複雑な現象を論理的に考えていく勉強をしなければなりません。そのような勉強を2年生以上のゼミなどの科目で行うことになります。そこでは答えを簡単に「見つける」勉強ではなく、これまで学んだ知識をもとに時間をかけて「より深く考える」勉強が求められています。

みなさんの努力次第で「深く考える力」が付き、大学卒業までの4年間で大きく視野が広がることと思います。そのことで、「いい就職ができる力」という次元だけでなく「この社会を生きていく力」をつけることができるはずです。大きな可能性がある未来に向かって、ぜひ頑張ってください。

『経済学の学び方 "As you like it"』

小山 直樹

経済学という学問は、
理論 (theory)、政策 (policy)、歴史 (history)
の三本柱から成り立っています。

私が担当する統計入門は、すべての1年次生が必ず履修する科目です。統計学は、経済学の分野では、経済現象の実態を数量的に把握するための方法として、昔から重視されてきました。経済学の理論・政策・歴史のどの分野においても、統計データを通して経済の実態を把握することが基礎になっています。ですから、経済学を学ぶ学生諸君は、最低限、統計学の基礎を履修する必要があります。

ただし、私たち教える側（供給サイド）が用意したお仕着せメニュー通りに経済学を学ぶのも結構ですが、学生の側が、何をどう学んでいくかの選択権をもっていることをお忘れなく。

つまり、学生のみなさんが、「自分はなぜ経済学を学ぶのか」、「実際に授業に出て学んだ甲斐があったか」を何度でも考えて、『自分にとっての経済学を学ぶ意義』を確認することが一番大切です。そして、卒業するときに、「自分が学んだ経済学はこういうものだ」と振り返ることができれば上出来と言えるでしょう。

最後に、せっかく甲南大学経済学部に入學したのですから、キャンパスライフを十分に楽しんでください。

環境経済学への招待

柘植 隆宏

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ここでは、自己紹介を兼ねて、私の専門分野である環境経済学についてご紹介します。

環境経済学とは、その名の通り、環境問題を経済学の観点から考える分野です。これからみなさんが勉強される経済学の分析手法を使って、環境問題の原因を探ったり、有効な対策を考えたりします。

経済活動と環境問題は密接に関連しています。私たちは、モノを作るための原材料（例えば石油など）を環境からとってきます。そして、それを使ってモノを作り、消費します。しかし、生産の過程では工場から排煙や排水を出しますし、流通の過程では、運搬用の自動車から排気ガスを出します。消費した後には、廃棄物を環境に排出します。つまり、私たちが行っている経済活動が、資源の枯渇、環境汚染、廃棄物の発生といった環境問題の原因となっているのです。

これまでの経済学よりも分析対象を少し広げて、経済活動を行うために必要となる資源の利用や、経済活動に伴う汚染物質などの排出まで含めて考えるのが、環境経済学です。

経済活動と環境の関係を理解することで、どのようにすれば環境問題の発生を抑えることができるかについても考えることができます。例えば、汚染物質の排出に対して罰金を科したり、汚染物質の排出を減らすための対策に対して補助金を出したりすることなどが考えられます。汚染物質を排出している工場は、汚染物質を出すことでお金を払わなければならないなったり、汚染物質を出さないようにすることでお金がもらえるようになったりしますので、なるべく汚染物質を出さない努力をしましょう。このように、経済学の発想を使うと有効な対策を提案できる場合があります。

残念なことに、環境問題はますます多様化し、深刻化しています。また、学問としての環境経済学はとても新しい分野です。環境経済学には、未解決の問題がたくさんあります。みなさん、ぜひ一緒に環境経済学を勉強しましょう。

大学の勉強は面白いよ！

筒井 義郎

みなさん、ご入学おめでとうございます。私にとっては、もうはるか昔の出来事になりましたが、今でも、長くつらかった高校3年生の受験勉強と、合格し入学した時の嬉しさは覚えています。私は、受験戦争では敗者で、200名に満たない学年で3年生の間に100番以上も順位を落としてしまいました。志望校もそれに合わせて変えざるを得ず、なんとか引っかけたというのが実情でした。だからと言うのではありませんが(?)、受験勉強には批判的です。あんな単調でつまらないことを一日の大半やっていけることが優れたことでもなんでもない、というのが持論です。

それに比べると、大学で学ぶことは格段に面白いこと、請け合いです。これまで数千年にわたって、人間が積み上げてきた科学・学問の体系ですから、いくら学んでも底に達しない奥行きをもっているのは当然でしょう。とくに、経済学は一大体系ができていて、しっかりとした基礎から、多方面の応用まで一貫した論理で理解することができます。ほかに比べると若い学問ではありますが、どんどん発展を遂げ、現在も華々しく発展している学び甲斐のある分野です。ここ数十年では、人々が合理的であるという前提で、満足度を最大にするように行動するという定式化を用いることによって、多くの事実や現象を説明できることを示しました。人々の行動だけでなく、社会全体の動きを分析するいわゆるマクロ経済学も、この定式化で記述するのが、最近では標準的になってきています。経済行動だけでなく、結婚や離婚や犯罪といったいろいろな行動まで、経済分析の枠組みで説明できるようになっています。さらに、最近では、「合理性の仮定」をゆるめて、人々がどのように非合理的であるかを究明し、それによって、経済理論をどのように修正しなければならないかを追究する「行動経済学」という分野も展開されつつあります。

経済学部に入学することは、皆さんにとって本当に幸運なことだと思います。この経済学を力いっぱい学んでみませんか。私たちが手助けします。

好きな言葉／贈る言葉

てら お たける
寺尾 建

新入生のみなさんに、ぼくの好きな言葉を贈ります。いまから4年後、みなさんが甲南大学を卒業する直前の時期に、それまでの4年間を振り返りながら、もう一度読んでもらえるならば嬉しく思います。

人生に失敗がないと、人生を失敗する。

——斉藤茂太（精神科医，1916-1996）

人を信じよ。しかし、その百倍も自らを信じよ。

——手塚治虫（漫画家，1928-1989）

険しい山に登るためには、最初はゆっくり歩くことが必要である。

——シェイクスピア（劇作家，1564-1616）

下を向いていたら、虹を見つけることはできない。

——チャールズ・チャップリン（映画俳優，1889-1977）

しっかりと準備もしていないのに、目標を語る資格はない。

——イチロー（プロ野球選手，1973-）

どんなマーケティングでも、駄作をヒットさせることはできない。

——スティーブ・ジョブズ（実業家，1955-2011）

垣根は相手がつくっているのではなく、自分がつくっている。

——アリストテレス（哲学者，前384-前322）

人類は太古の昔から、帰りが遅いと心配してくれる人を必要としている。

——マーガレット・ミード（文化人類学者，1901-1978）

うまく使えば、時間はいつでも十分にある。

——ゲーテ（詩人・小説家，1749-1832）

何かに『なる=become』ということ

中島 清貴

本当に何かを実現したければ、
眼の前にある様々な『可能性』を徹底的に切り、
ひとつの『可能性』を突き詰めなさい。
人でありたければ、
切られてしまった可能性に『愛惜の念』をもっていなさい。

学生時代の恩師の言葉です。僕は経済学者としてメシを食べています。別の職業についていたらどうなっていたかなあ、と想うことは今でもよくありますが、とにかく今は経済学者として『生かされて』います。

経済学と言っても分野は広く、ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、金融論、財政学、労働経済学、など数え上げればきりがありません。僕が経済学者として『生かされている』ということは、とりもなおさず僕には専門分野があるということです(ちなみに、僕の専門分野は金融論です)。

つまり、経済学者として『生かされている』ことと引き換えに、僕は自分の専門分野以外の分野を、『好むと好まざるとに関わらず』切ってしまうということになります。経済学者以外の職業の可能性を切り、専門分野に閉じこもりながらその可能性を徹底的に突き詰める努力をすることで、僕は経済学者として『生かされている』わけです。

一方、『経済学者としての可能性』を突き詰めるだけで、『他の可能性』に対する想いや配慮がなければ、僕には『人としての大事な何か』が根本的に欠けていると言わざるをえません。この世には、経済学や自分の専門分野以外にも想いを馳せるべき『様々な可能性』に満ち溢れているからです。

というわけで、甲南大学では、

授業の時間内は『頑固な経済学者』として、
授業の時間外は経済学以外の可能性に想いを馳せる
『気の多い人間』として、

皆さんにお会い出来ることを心から楽しみにしております。

新入生の皆さんへ

林 健太

このたびは、甲南大学経済学部へのご入学、誠におめでとうございます。

さて、皆さんは今、激動の時代を生きているという実感をどれ程お持ちでしょうか。2007年に米アップル社がiPhoneを発売して以降、世界中の多くの人がスマートフォンを所持するようになりました。日本でも例外は無く、10代20代の大学生年代に限って言えば、所持率は90%を超えるという調査もあります。

スマートフォンの普及とともに、世の中のルールもどんどん変わっています。スマートフォンを通じて集められた（ビッグ）データを、どのように活用して利益を上げるかを、世界中の企業がこぞって研究しています。そのために、短時間で、何度もアクセスするようなサービスが数多く開発され、私たちは気づいたらスマートフォンを触っているという状態に置かれているのです。

一方で、大学で送るリアルな生活とはどのようなものでしょうか。新入学と同時に学内で友人を作る、クラブ・サークル活動を選ぶ、朝早く起きて授業に出席する、所属するゼミを選ぶ、課題レポートをこなす、定期試験を受ける、恋愛する、留学する、趣味に没頭する、就職活動を行う等々・・・、どれもこれも、時間や労力（＝コスト）がかかるものばかりですね。

だが、それがいい！

そう遠くない将来、人工知能とロボットの普及によって、私たちは余った時間をどう使うかを真剣に考えなければならない時代が来るでしょう。今の内から、スマートフォン以外のリアルライフの過ごし方について考えてみるのがとても大切です、という予言をしておこうと思います。

洗脳とストーキングの先に

文責：平井健介

経済学部生となった皆さんは、「経済の問題に興味を持って探究しましょう」と言われるようになります。言われた学生の多くは「それができれば苦労しない」と言って、単位や GPA かせぎに汲汲とします。あなたもそうなるかもしれません。しかし、経済について探究しない経済学部生は、野球に興味がない野球部員と同じぐらい、**イタイ**存在です。そんな学生を一人でも減らしたいという思いで、どうすればよいかを書いてみます。

まず、「興味を持つ」について。**みうらじゅん**という様々な物事に興味を持つ方がおられます。みうらさんは「セガール概論」と題する講義のなかで、物事に興味を持つためには、それに一步踏みこみ、好きだと洗脳する努力が必要だと言います。つまり、「興味を持つ」とは、自然的な行為だけでなく、人為的な行為でもあるということです。勉強も同じです。対象への興味が最初からあることは稀で、勉強する（対象に一步踏み込む）なかで生まれるものです。まずは、何らかの言葉を1つ選び（「魚」「神戸」「車」など何でも OK）、それに興味を持ったと自分を洗脳してください。

次に、「探究する」について。推理小説家として著名な東野圭吾氏の作品に「ストーカー入門」というのがあります。ある女性が彼氏を自分のストーカーとして育成する話です。しかし、彼氏はストーカーにうまくなりきれず、彼女から「なぜバイト先に張り込んでないの」「なぜゴミを漁らないの」などと散々なじられます。つまり、「興味ある対象」（ここでは交際相手）があっても、その対象について探究していくためには、探究の方法を知る必要があるということです。

大学の授業は、興味ある対象を見つけるためよりも、それを探究する方法（資料の調べ方やモノの考え方など）を学ぶためにあります。まずは自分を洗脳して興味ある対象を生み出し、それを探究する方法を学ぶために授業を活用してください。四年後には今とは違う世界が広がっています。

夢八訓

村澤 康友

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

挨拶などでよく引用されるので、聞いたことがある人も多いかもしれませんが、吉田貞雄の「夢八訓」という言葉を紹介します。

夢のある人は希望がある／希望のある人は目標がある／目標のある人は計画がある／計画のある人は行動がある／行動のある人は実績がある／実績のある人は反省がある／反省のある人は進歩がある／進歩のある人は夢がある

「夢」を持つのが難しい時代とされています。夢が見つからなくて悩んでいる人もいるかもしれません。そういう人は、まず「行動」してみましょう。そこから実績→反省→進歩→夢→…という「好循環」に繋がっていくというのが「夢八訓」のメッセージだと思います。

逆を考えてみましょう（吉田松陰の「夢五訓」、渋沢栄一の「夢七訓」はこちらの表現に近いです）。

夢のない人は希望がない／希望のない人は目標がない／目標のない人は計画がない／計画のない人は行動がない／行動のない人は実績がない／実績のない人は反省がない／反省のない人は進歩がない／進歩のない人は夢がない

夢が見つからないと言って何もしないでいると、このような恐ろしい「悪循環」に陥ってしまいます。せっかくの人生ですから、そうならないように気をつけて下さい。

皆さんが4年間の大学生活で様々なことに挑戦し、より豊かな人間に成長されることを祈念します。

経済学部生へ

森 剛志

ハングリーであれ！バカであれ！

若い時代は、「人生まだまだ長い」と思います。大学生になったばかりには、「大学4年間はなんと長いのだろう」と思うでしょう。でも、振り返ると、毎日すぐ過ぎ去ることがわかります。1年生の時間が100とすると、2年生は70くらい、3年生は50くらいで、4年生は20くらいの長さを感じられるでしょう。

大学一年生のときには、できるだけ多くの人と友人になり、仲間作りをして、勉強しやすい環境をつくるといいと思います。

実は、人の幸せはいろいろなところに転がっているものです。学生時代には多くのお金はありませんが、実はそれが幸せだったりします。お金があって、親から買ってもらった車をみせびらかせて乗りまわっている学生もいるかもしれませんが、決してこのタイプの人が幸福とは限りません。貧しさの中で、清貧を楽しむとき。しずかに読書して、知らない世界に思いをはせるとき。普段のなんでもない生活でも、幸せは数え切れなくあります。

人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを持ってください。そして少しの勇気と情熱を持てれば、さらによいです。私が甲南大学に来ておどろいたことは、ほとんどの空き時間をバイトで埋めている学生が大半だったということです。（それと携帯とテレビ漬けということ。）

彼らは、自分の大切な青春を時給1000円で売っているのです。かわいそうでした。バイトもいいですが、のんびりとした何もない時間を十分つくって、読書と友人や先生との会話をして大学生活を満喫してください。何をしたらいいかわからないのですが、実はやれることはたくさんあります。これから2020年までは日本が絶好調の時代です。

みなさんはラッキーです。ですから、

ハングリーであれ！バカであれ！

未知に挑戦する、大学での学び

森本 裕

みなさん、ご入学おめでとうございます。これからどんな生活が待っているんだろう、どんなことを勉強しよう、とワクワクしていることと思います。

さて、高校までの勉強と、大学の学問はどう違うのでしょうか？一言でいうと、「答えがない問題の解決策を考える」のが学問です。高校までは、教科書の内容を覚えて、それを試験で書けば点数をもらえました。けれども、大学では自分で答えを発見しなければなりません。（誰も、解決策を知らないから。）

- ・日本経済がデフレから脱却するためにどうすればいいか？
- ・どうすれば地方を活性化することができるか？
- ・所得格差をなくす方法は何か？

日本社会は色々な課題に直面していますが、これらに対する処方箋は誰も知らないのです。だから、日本の将来を背負っていくみなさんが、どうすればいいのかを一生懸命考えなければなりません。そのための知識を身に付け、訓練するのが大学での学びです。授業で専門知識を学び、ゼミで先生や仲間と議論して、課題解決力を伸ばしてください。

また、大学の中だけではなく社会や世界を幅広く知ることも大切です。旅行をするもよし、留学するもよし、ボランティアもよし、色々な経験をしてください。必ず将来、役に立つはずですよ。

もしみなさんが、専門知識と幅広い経験を兼ね備えれば、どんな場所でも生きていけます。大学生活で大きく成長して、日本を、世界を変える人材になってくれることを期待しています。

経済学部の先生方に質問！

(50音順)

青木 浩治先生	28	小山 直樹先生	52
足立 泰美先生	30	柘植 隆宏先生	54
石川 路子先生	32	筒井 義郎先生	56
石田 功先生	34	寺尾 建先生	58
市野 泰和先生	36	中川 真太郎	60
稲田 義久先生	38	中島 清貴先生	62
上島 康弘先生	40	林 健太先生	64
永廣 顕先生	42	平井 健介先生	66
岡田 元浩先生	44	村澤 康友先生	68
奥田 敬先生	46	森 剛志先生	70
春日 教測先生	48	森本 裕先生	72
高 龍秀先生	50		





青木 浩治 (あおき こうじ)

神戸大学経済学研究科博士課程
博士 (経済学)

1. 先生の専門分野は何ですか？

国際経済学です。英語で書くと **International Economics**。とてもカッコよく見えませんか？

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

国際投資ポジションの超過収益率の理論と実証。と言ってもよく分かりませんか？中国やロシア、サウジアラビア、韓国などは債権国と言って外国に対して借金以上の資産を持っているけど、その資産収益率はマイナス。逆にアメリカやイギリスといった国は債務国なのに對外投資で借入利息以上の収益を得ています。こうした世界各国の実態を明らかにし、その原因を追究しています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

上記の研究テーマ (継続中だから)。

4. 甲南大学の印象を教えてください。

印象ですか？時代とともに変わっているけど、現在は「きれいな大学」ということでしょうか？それと便利な所に立地しているということかな？学生くんも素直な人が多くてよいですね。でもとってもナイーブな人が多いように見受けられます。

5. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？
私がもし甲南大学経済学部生だとしたらということですよね？そりゃもちろん「国際経済」です。
6. 大学（生活）の良さを教えてください。
単位修得以外、ほぼフリーであること。時間を自分で管理できることが最もよいところでしょう。
7. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）
現在、日本経済が上り調子だけど多分に世界経済動向に依存しています。それがいつどのような展開で変わっていくかということ（皆さんの3年後の就活状況がこれに依存しています）。
8. 新入生に一言お願いします。
一にも二にもまず「友達作り」。これに失敗すると真っ黒な大学生活になります。



足立 泰美 (あだち よしみ)

大阪大学大学院国際公共政策研究科
修士課程修了

大阪大学大学院医学系研究科
博士課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

財政学です。なかでも，地方財政および社会保障財政が専門です。
保健・医療・介護および雇用・出産・子育て政策の有効性を実証的に
分析したり，税・社会保険料の制度変更の影響をシミュレーションで
検証しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

社会保障財政の財源と給付の視点から，中央政府，地方政府そして家
計の立場から政策の有効性を検証しております。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

破産プログラムですね。一生涯の人生のなかで，貧困に陥る人もいれ
ば金持ちになる人もいます。そのきっかけは何が誘因になっているの
か。そしてそれら誘因を変える政策を行えば，どのように家計の行動
は変化するのかを明らかにしたいですね。

4. 甲南大学の印象を教えてください。
穏やかな街並みに佇む憩いの場のような印象をもっています。

5. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？
それぞれの先生が工夫をしていますので、どの科目もよいと思います。

6. 大学（生活）の良さを教えてください。
大学（生活）の良さは自由と責任です。そしてその先には人生の選択があります。そのため選択の仕方を身につけられたら良いですね。学生時代には楽しく好奇心が掻き立てられる機会が沢山あります。しかしながら、時間的にも金銭的にも制約がありますよね。諸先生や友人の考え方や生き方を間近で見たり聞いたりするなかで、それら機会を通して何を実現させたいのか、あるいは目標をたて、その目標を叶えるには今何を選択し身につけておいたほうがいいのか。そして決断した後はそれに向かって邁進する生き方を学びたらよいですね。

7. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）
何でしょう？？？ぜひ教えてください。

8. 新入生に一言お願いします。
トコトン遊んで、思いっきり勉強してください。そこから失敗と成功を繰り返しながら、自分の限界を感じつつ、自身の得手と不得手を身をもって知ることができます。この「知る」ことの積み重ね、それが自分についての知識になります。将来への道が見えてくるきっかけになります。



石川 路子（いしかわのりこ）

神戸大学工学部卒業

神戸大学大学院自然科学研究科博士前期
課程修了

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士
後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

私の専門分野は「地域経済学」です。都市や地域の抱える課題がすべて研究対象になるので非常に幅広い分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

現在の私のテーマは生活の質（Quality of Life）の地域間格差の分析です。生活の質が地域によってどのように異なるのか、さらにその差がどのような要因によって生まれているのかを明らかにすることで、よりよい地域をつくるための方策を検討しています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

現在は、障がい児者に関する研究に興味を持っています。欧米諸国では、障がい児者の置かれた環境を経済学的観点から考えるとといった研究は数多く行われていますが、日本ではまだ発展途上です。自分自身もゼミを通じて障がい児者の方々にお会いする機会が多いので、ぜひ研究していきたいと考えています。

4. 甲南大学の印象を教えてください。

甲南大学生は（良い意味で）素直な学生さんが多い気がします。他大学の学生さんに比べても真面目なのかな？（笑）ここ数年で、おとなしい学生が増えた気もしますが…以前のような闊達な学生さんが増えることを期待しています。

5. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

基礎ゼミ I です。少人数だし、さまざまな先生方のお話を聞けるので、楽しいかと。あとは、さまざまなプロジェクトベースの授業でしょうか。自分でいろいろアイデアを出して、それを形にしていくのが好きなので。

6. 大学（生活）の良さを教えてください。

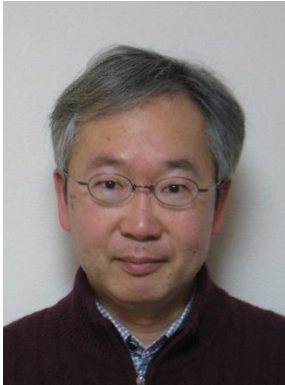
自由なところです。残念ながらその「自由さ」を実感できるのは卒業後ですが（笑）。新たなことにチャレンジするなど、ぜひ充実した大学生活を満喫してもらえればと思います。

7. 今後、注目すべきことは何ですか？

甲南大学にある地域連携センターでは、地域と学生をつなぐプロジェクトを数多く展開しています。地方自治体や企業の方々と直接議論をする場も多いので、ぜひ参加してみてください！

8. 新入生に一言お願いします。

これから皆さんとともに4年間を過ごせることを本当に嬉しく思っています。思ったよりあっという間に過ぎ去っていくこの貴重な期間を終えたときに、ぜひ他人に誇れる「何か」を身につけてください。皆さん一人ひとりが充実した大学生活を送れますように！



石田 功 (いしだ いさお)

Ph.D., Economics,
University of California, San Diego

1. 先生の専門分野は何ですか？

金融市場データの統計分析の方法の開発と金融市場の実証分析です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

株価や為替レートが明日上昇するのか下落するのかを当てることは極めて難しいですが（そんなことができれば誰でも簡単に巨万の富を得ることが出来てしまいます）、市場価格変動の激しさ（これをボラティリティと言います）は過去データ分析からかなりの精度で予測できます。金融リスク管理において重要なこのボラティリティ予測の精度向上方法の開発が主な研究テーマです。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

金融市場データ分析の分野は日進月歩で研究者間の競争も激しいです。既に着手した研究の区切りを早くつけて論文として発表したいとだけ考えています。

3. 甲南大学の印象を教えてください。

学生・教員の距離が非常に近い大学という印象です。学生の研究室訪問は大歓迎という教員が多いので、気軽に利用しないと損だと思います。

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

映画『君の名は。』のように、今の自分の記憶・テイストを持ったまま大学1年生の誰かと入れ替わったらということであれば、経済史に加えて他学部で数学、哲学、人工知能・脳科学関連の講義も体系的に受けてみたいです（私の個人的趣味の開陳を超えたアドバイスとしては、大学のリソースを最大限利用して幅広い教養を身に付けたいともしっかり身につくような理論系の講義ですね。また、皆さんの満足する確率が一番高そうなのはというと、テーマ的に皆さん自身が興味を惹かれ、かつ、授業評価の高い授業を選べばよいのではないのでしょうか。

5. 大学（生活）の良さを教えてください。

自分の裁量で自由に使えるまとまった時間が多いということではないでしょうか（特に最初の2年間）。ただ、卒業後に自分が望むキャリアを得ることができるかどうかは、この時間をいかに有効に使うかによる部分も大きいと思うので、後で後悔のないようにして下さい。

6. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

AIやバイオ医療等の技術革新。多くの人の予想通り、これにより人類社会は今後数十年で想像を絶するような変革を経験することになると思いますが、それが一夜にして起こるわけではないでしょう。具体的にどのタイミング、どのような順序で様々な社会的変化が起こるのかにより、皆さんの人生への影響も大きく違ってくるでしょうが、それらは予測不可能な偶然により決まる部分も大きいのではないかと思います。出来るだけ自分の頭で考え、ものごとの本質をつかむ訓練をつんでおいて下さいぐらいしか、私にはいえません。

7. 新入生に一言お願いします。

4年間、しっかり勉強して下さい。



市野 泰和 (いちのやすかず)

Ph.D. (Economics),
Department of Economics,
University of Washington

1. 先生の専門分野は何ですか？

国際貿易の理論と，ミクロ経済学の理論です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

人の持つ技術や選好の多様性が貿易の利益に与える影響について，
経済学における機会費用という概念の位置づけと，その歴史的経緯について。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

人は，自分と，自分が親しく思う人のことを考えて自分の行動を選びます。
自分が親しく思わない人のことは考えません。それでも，全体としては，
すべての人がすべての人を親しい人と思って行動したかのような結果が
もたらされることはあるのか？あるとしたら，それはどういうケースなの
か，というのを研究してみたいと思っています。

3. 甲南大学の印象を教えてください。

学生さんが、やさしくて素直.

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

家計の経済とか、行動経済学とか、地域政策ワークショップとか、僕が大学生のときにはなかったような授業を受けたいです.

5. 大学（生活）の良さを教えてください。

自由にのびのびと勉強ができることだと思います.

6. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

僕の授業がこれから4年間でどう変化するか.

7. 新入生に一言お願いします。

勉強でわからないことがあったら、僕の研究室に聞きにきてください。どんな授業のことでも、授業のことじゃなくても、勉強のことで、僕がわかることなら何でも答えます。学生さんが、「あ、そっか、そういうことか、わかった」って顔をするのを見るのは、僕の大きな喜びです。



稲田 義久 (いなだよしひさ)

昭和 51 年 3 月 神戸大学経済学部卒業

昭和 56 年 3 月 神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得

平成 4 年 12 月 博士(経済学)(神戸大学)

神戸学院大学、立命館大学を経て現在に至る

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済予測や環境問題の分析です。最近は関西の成長戦略に興味があります。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

超短期予測モデルの開発と予測
ビッグデータの予測への利用
府県 GRP の早期推計

3. 今後してみたい研究は何ですか？

マイクロデータを用いたインバンド産業の研究

3. 甲南大学の印象を教えてください。

大学やキャンパスがコンパクトなため、学部学生や教員間の融合性が高く、お互いにつながる濃度が高いと思います。

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？
Active-learning 系の講義を受けてみたいです。自分の講義に参考になると思います。
5. 大学（生活）の良さを教えてください。
圧倒的に自由になる時間が多いことです。それを活用して、多くのことを学びました。読書や旅行に多くの時間を割きました。
6. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）
AI(人工知能)が今後の日本経済やわれわれの生活にどのような影響を与えるかに注目しています。今日変化は常です。平生先生の言葉に「常に備えよ」というのがありますが、AI が及ぼす影響に注目しどのように備えようかと考えています。
7. 新入生に一言お願いします。
1 回生の時は大学での生活が日々の中心となるように心掛けてください。まず講義に出て食堂でランチをとりまた講義に出る生活です。これを繰り返すうちに、多くの友達ができます。様々なタイプの友人作りに心がけてください。例えば、能力ではとてもかなわないが、自己向上には良い友達。発想がよく似ていていろいろなことを議論できるタイプ。卒業を確実にするために必要なタイプ等々。数は少なくてもバラエティーに富んだ友人を作ってください。



上島 康弘（うえしま やすひろ）

一橋大学経済学部卒業
大阪大学経済学研究科修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

労働経済学。経済のしくみや法規制のなかで、労働条件（給料や労働時間など）がどのように決まるのかを考える分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

日本の会社が仕事経験のない学卒者を採用して育ててくれる理由を知りたいと思います。サッカーではフォワードの選手が辞めたら他のチームから引き抜くのに、日本の会社ではなぜ再度、ユースを雇って教えるのでしょうか。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

高度成長期における炭鉱労働者の離職プロセス。戦後復興を支えた彼らはエネルギー源が石炭から石油に代わるなかで、どのような職業人生を過ごしたのか。

3. 甲南大学の印象を教えてください。

ゼミ生たちの素直で明るい性格が印象的です。彼らに日々、人物教育してもらっていると感じます。

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

「商法」や「税法」、「簿記」や「会計学」、「マーケティング総論」など。就職したら実務的な知識が必要だから。ほかに、卒業単位にならなくても他学部で評判のいい授業を受けたいと思います。将来の肥やしになるから。

5. 大学（生活）の良さを教えて下さい。

たくさん本を読んで、たくさん旅ができること。みなさんも、自分の世界を広げて、内発的になんかと思える何かを見つけてください。

6. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

甲南大学のこれから。18歳人口が減少するなかで、受験生確保のために右往左往せずに、甲南生が成長を実感できるような機会の提供に全資源を投入するか、平生さんの目ざした教育の実現に愚直に邁進するかどうか。

7. 新入生に一言お願いします。

知的好奇心と独立心を併せ持つこと。人間や自然、社会に興味を持ちながら、自分は独りでも考えて生きていく、他人から指図や同情を受けるのは侮辱だという気概を忘れないでほしい。



永廣 顕（えひろ あきら）

東京大学大学院経済学研究科博士課程

1. 先生の専門分野は何ですか？

財政金融論、財政金融史が専門分野です。特に、財政と金融の境界領域といえる国債管理や財政投融资を中心に研究しています。また、社会保障の中の年金や医療保険についても研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

現代日本の財政・金融政策の政策形成過程を解明することを研究テーマにしています。現代日本の財政・金融政策の特質は1920年代から戦時期にかけて形成されたのではないかという問題関心があり、大学院時代から研究を続けています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

目の前の仕事をこなすだけで精一杯ですので、そんな余裕はとてありませんが、交通や観光に関わる政策や産業について研究してみたいです。

4. 甲南大学の印象を教えてください。

20数年前に初めて訪れた時の印象は、こぢんまりとしたキャンパスだなという印象でした。こぢんまりとした分、動きやすくいいなと思います。全体的にのんびりとした雰囲気だと思います。

5. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？
どの講義とは特定しませんが、自分の大学時代にはなかった専門科目の授業を受けてみたいです。

6. 大学（生活）の良さを教えてください。
時間に制約されずに活動できることだと思います。また、さまざまな交友・交流関係を通じてものの見方や考え方を広げることができることだと思います。

7. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）
A I（人工知能）の進歩が人間の生活をどのように変えていくのかが気になるところです。

8. 新入生に一言お願いします。
勉強やクラブ・サークル活動など、「甲南大学」の中で自分の興味、関心を見つけて、4年間それに精一杯打ち込みましょう！大学の授業は難しいと思いますが、前向きに取り組むことでものの見方が広がり、必ず自身の成長につながると思います！



岡田 元浩（おかだ もとひろ）

同志社大学院経済学研究科博士課程（後期）
中退

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済学の歴史。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

労働学説の史的展開に関する批判的研究に取り組んでいます。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

上記の現在の研究を生涯最後のものと考えています。

3. 甲南大学の印象を教えてください。

学園歌詞にある「世の常に媚ぶるなく」が、かつての最良の美德であったと思いますし、これからもそうあるべきだと思います。

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

Je n'en ai aucune idée.

5. 大学（生活）の良さを教えてください。

学ぶべき *σχολή*（暇）があること。*σχολή* を失った大学はもはや大学

といえない。

6. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

常軌を失いつつある世界と日本の行末。

7. 新入生に一言お願いします。

「明日死ぬがごとく生き、永遠に生きるがごとく学べ。」（Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever.）（Mohandās Karamchand Gāndhī）



奥田 敬 (おくだ たかし)

1958年生。

慶應義塾大学大学院経済学部研究科博士
課程単位取得退学

一橋大学社会科学古典資料センター助手

1. 先生の専門分野は何ですか？
経済学史／社会思想史／南イタリア近代史
2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
「18世紀ナポリ啓蒙」
もう少し具体的かつ現代的に言えば、アダム・スミスから始まる(とされている)のとは違う〈経済学〉の可能性(初心)の探求。
3. 今後してみたい研究は何ですか？
人類史も地球史も宇宙史も知りたいことだらけですが、上記のテーマだけで精一杯です。
3. 甲南大学の印象を教えてください。
着任当初は旧制高校的な教養主義の余韻を感じました。
4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？
(他学部も含めて)既にご退任された幾人かの先生の伝説的な講義。
5. 大学(生活)の良さを教えてください。
いろいろな過ごし方ができることではないでしょうか？

(別掲の拙文「講義の単価？」をご参照ください。)

6. 今後、注目すべきことは何ですか？(何でも可)
人文諸学—とりわけ経済学—の運命。

7. 新入生に一言お願いします。

Segui il tuo corso, e lascia dir le genti!

おまえの道をいけ。人々には言わせておけ。

(マルクス『資本論』序文の結句、cf.ダンテ『神曲』煉獄篇 5:13)



高龍秀（こう・よんす）

1984年に大阪府立大学を卒業し、1991年
大阪市立大学大学院を修了。

1. 先生の専門分野は何ですか？

国際経済学とアジア経済です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

サムスン電子など韓国の企業を研究しています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

中国経済がものすごい勢いで成長しているので、中国企業の研究をしてみたいと考えています。

3. 甲南大学の印象を教えてください。

教員も学生もフレンドリーで人懐っこい人が多い。狭いキャンパスで学生数も多くないので、キャンパスで知り合いとよく会う。

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

私は、アジアの企業に関心があるので、「国際経済」や産業・企業に

関わる講義、近年のネットワークに関わる技術革新などが学べる講義を受けたいと考えます。

5. 大学（生活）の良さを教えてください。

自由に、いろんなことができる、時間がたっぷりあることです。

6. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

グーグルとラインなどが AI を活用したスピーカーを比較的安い価格で販売を始めました。これら AI や IoT や自動運転などの新しい技術革新によって、われわれの生活がどう変わるのか、注目しています。

7. 新入生に一言お願いします。

大学時代に大切な友達を作りましょう。

大学時代に打ち込める何かを見つけましょう。

世代を超えて、いろんな人と話をするのはとても大切です。

授業で先生の話をよく聞くこともその意味で重要です。

授業にちゃんと出て先生の話をよく聞きましょう。



春日 教測 (かすが のりひろ)

横浜国立大学 大学院国際社会科学研究所
博士課程 (産業組織論、経済政策)

1. 先生の専門分野は何ですか？

産業の競争状況や企業の戦略を、データに基づき実証的に検証することです。テレビや新聞で日常接するニュースで知る内容には、どのような経済合理性があるのか等を考えることは、良い頭のトレーニングになっていると思います。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

メディア産業および情報通信産業焦点を当てて、以下のようなテーマについて分析しています。

- ・テレビや新聞等のメディアが伝える情報が人々の行動に与える影響
- ・新サービスに関する人々の選好
- ・マクロ経済に与える影響

3. 今後してみたい研究は何ですか？

最近いろいろな産業で合併・買収が盛んに行われていますが、その効果について、産業ごとの相違を踏まえた分析をしてみたいと考えています。

3. 甲南大学の印象を教えてください。

同じく関西にある前任校と比較して、規模が小さく融通が利きやす

いという印象があります。反面、規定・規則がきっちりしていない面もあり、その点では「自由すぎる」という印象もあります。

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

同じ科目名の別クラス（例：ミクロ経済学入門・マクロ経済学入門など）の聴き比べをしてみたいです。経済学はかなり標準化されており誰が教えても基本は同じはずですが、実は説明の仕方や事例の取りあげ方などで微妙な差がでるところもある科目なので、その違いが興味深いのではないかと思います。

5. 大学（生活）の良さを教えてください。

タイプの異なる多くの友人と知り合えることだと思います。講義、サークル活動、バイト等を通じて、いろいろな人と話をしてください。雑談の中から新しい発見をすることも多いはずです。また自由な時間が多いのも魅力的です。このタイミングでしかできないこと、例えば海外旅行や留学など、に是非チャレンジしてください。

6. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

NHK による、テレビ放送とインターネットの「常時同時配信」の動向。2020年の東京オリンピックまでにNHKはこの体制を通常のものにしようとしています。いまのところ「ネットのみ」の視聴者には受信料支払は義務化されていませんが、最高裁で「受信契約義務付けは合憲」と判断されたこともあり、今後どう転ぶか分かりません（ネットでNHKを視聴できれば、つまりスマホを持っていれば、受信料支払が義務化される可能性もあります）。皆さんに大変身近な話題でもあるので、関心をもって頂けると嬉しいです。

7. 新入生に一言お願いします。

大学は一方的に教わる場ではなく、講義に対する質問や意見、ゼミでの議論等を通じて共に学ぶ場でもあります。これから4年間、一緒

に経済学を勉強していきましょう。



小山 直樹（こやま なおき）

名古屋市立大学大学院経済学研究科博士
課程後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

統計学、経済統計学、および計量経済学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

授業改善アンケートデータの分析を行っています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

人材養成機関としての大学の生産性について調べてみたいです。

3. 甲南大学の印象を教えてください。

ポップな箱庭のように感じています。

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？
自分が担当している講義を一学生として受講してみたい。

5. 大学（生活）の良さを教えてください。
自由さと自己責任の重みを日々感じられるところ。

6. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）
日本の社会保障制度の行方。

7. 新入生に一言お願いします。
マイペースで行こう！



柘植隆宏) (つげたかひろ)

1976 年生まれ

神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

環境経済学です。経済学の分析手法を使って、環境問題の原因を探ったり、有効な対策を考えたりしています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

環境の経済的な価値評価です。環境にはお金で測るといくらかの価値があるのか、といったことを研究しています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

ビッグデータを使用した消費者行動の実証分析です。

4. 甲南大学の印象を教えてください。

立地が良くて、キャンパスもきれいで、人柄のいい学生が多くて、とてもいい大学だと思います。

5. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

プロジェクトゼミです。その後の大学生活が変わると思います。

6. 大学（生活）の良さを教えてください。

自由な時間がたくさんあることだと思います。ぜひ有効に使ってください。

7. 今後、注目すべきことは何ですか？

AI やロボットなどの新しい技術が社会をどのように変えるかに注目すべきだと思います。

8. 新入生に一言お願いします。

いま、みなさんが思っている「自分の適性」や「自分の限界」は、意外とあてになりません。自分自身を正しく理解するためにも、学生時代にいろいろな経験をしてください。



筒井 義郎 (つついよしろう)

1950 年生まれ。東京教育大学(理学部物理学学科)、大阪市立大学(経済学部夜間)卒。経済学博士。理科の高校教員を経て名古屋市立大学、大阪大学で金融と行動経済学を教えていました。

1. 先生の専門分野は何ですか？

行動経済学、幸福の経済学、金融（地域金融、株価）です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

最近、労働経済学に興味を持ちまして、労働供給関数（賃金が高ければ長時間働こうとするか）に関する研究を足立先生と一緒にしています。

結婚や出産が幸福感にどのように影響するかについても調べています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

配偶者控除制度(大雑把に言うと、配偶者の所得が103万円以下なら、所得のうち38万円は税金がかからない)によって、女性の就業が抑制されているかどうかを新しい手法で調べてみたい。

格差が縮まることによって人は幸せになるのかどうか。データで明らかにしたい。

4. 甲南大学の印象を教えてください。

明るく楽しいお祭り広場。

5. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

現在の私では経済史や中国経済といった授業に興味があります。ほかのいわゆる理論・政策分野の内容はもう知っているので、改めて聞きたいことはありません。

しかし、もし新入生時代の私に戻って、ということでしたら、断然、ミクロ経済学、マクロ経済学、そして統計・計量経済学の授業に集中します。金融・財政・労働・開発経済・産業組織・国際経済・国際金融といった科目は、この応用科目であって、ミクロ経済学、マクロ経済学、統計・計量経済学の知識がなければちゃんと理解することは困難だからです。

それだけでなく、「経済学の考え方」を身に着けることが経済学の知識を知ることよりはるかに重要です。それには体系だった学習が不可欠です。

統計学は経済学を学ぶためだけでなく、不確実性に満ちた人生をどう生きるかにも重要な視点を教えてくれます。

6. 大学（生活）の良さを教えて下さい。

そりゃ、自由な時間が多いことですよね。人生いつでもやりたいことができる自由があるわけではありません。とくに夏休みなんか、まとめて一つのことをしなければもったいないです。目的もなく、だらだら過ごすなんてもってのほか。

7. 今後、注目すべきことは何ですか？

・・・??

8. 新入生に一言お願いします。

若いっていいですね。何に対しても持つ好奇心、リスクを顧みない無防備で破天荒な行動力。失敗を恐れずに挑戦してください。どうなっ

てもまだまだやり直しがききます。その若い気持ちさえ忘れなければ。



寺尾 建 (てらお・たける)

1991年 京都大学経済学部 卒業

1996年 京都大学大学院経済学研究科 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

——「マクロ経済学」です。景気循環や経済成長、そして、それらに伴う失業やインフレーション／デフレーションなど、「経済全体」の振る舞いについて研究する分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

——現在は、「経済学の数学化 (Mathematization of Economics)」を中心的なテーマとする研究書を出版するための準備を進めています。2016年の秋から始めた準備は、1年近く難航をしましたが、昨年2017年の秋ようやく、「突破口」が見つかりました。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

——上の質問への回答に関連しますが、「経済学の数学化」というのは、19世紀の後半に顕著になった「経済学的な分析において、さまざまな既存の数学を応用する」ということを超えた、経済学の“つくり方”そのものが数学的になったことを指すのですが、その意味での「数学化」は、20世紀以降現在に至るまでの経済学の特徴となっています。

研究を通して明らかにしたいことは、「経済学の数学化」が経済学をどのように変え、そして、そのことが経済についての私たちの認識や理解にどのような影響を及ぼしているかということです。

研究書は、遅くとも 2019 年中には出版したいと考えています。

3. 甲南大学の印象を教えてください。

——甲南大学に着任したのは 2002 年 4 月なので、今年で 17 年目になります。この間、世の中の風潮と若い人々の嗜好や志向性も大きく変わったように思いますが、甲南生に対する「優しい」「素直」という印象は変わりません。これからも変わらないでいてほしいと思います。

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

——いまの世界でもすでにそうですが、これからの世界では、科学 (science) ・ 技術 (technology) ・ 工学 (engineering) ・ 数学 (mathematics) に関する素養がさらに強く求められると考えていますので、市野泰和先生・中島清貴先生・村澤康友先生の 3 人の先生方が担当される授業はすべて受けてみたいです。

また、科学にしても、技術にしても、工学にしても、また、数学にしても、それを問題にするのは「人間」であり、そして、それらが問題になるのは「社会」であるので、「人間」と「社会」についての理解を深めるために、平井健介先生・柘植隆宏先生・高龍秀先生の 3 人の先生方が担当される授業もすべて受けてみたいです。

5. 大学 (生活) の良さを教えてください。

——自由な時間がたくさんあること。利害の伴わない人間関係をつくることができること。学問に触れることができること。

6. 今後、注目すべきことは何ですか？ (何でも可)

——「今後、注目すべきことは何か？」という視点だけではなく、「これまで、何が注目されてきたのか？ (それで、どうなったのか?)」という視点をもつことも大切だと思います。

7. 新入生に一言お願いします。

——「常ニ備ヘヨ」(平生鈇三郎)。



中川 真太郎 (なかがわ しんたろう)

京都大学大学院 経済学研究科
博士後期課程 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

公共経済学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

公共財の研究です。公共財というのは、対価を払った人も払わない人も誰でも利用でき（非排除性）、また、ある人が利用しても、他の人もそれを同じように利用できる（非競合性）という2つの性質を持つ財を言います。「そんなものが現実にあるのだろうか」と思うかもしれません。しかし、たとえば、地球の自然環境がもたらす恩恵は、世界中誰もが利用できますし、また、ある人が利用したからと言って他の人が利用できるわけではありません。そのため、地球環境は公共財の1つです。この他にも様々な問題が公共財の性格を持っています。私は、この公共財の理論を用いて、現実の様々な問題を分析する研究に取り組んでいます。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

現在取り組んでいる研究を継続し発展させていく予定です。

4. 甲南大学の印象を教えてください。

とても良い大学です。

5. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

素晴らしい講義ばかりですので、1つに絞ることが出来ません。

6. 大学（生活）の良さを教えてください。

自由なことです。ただし、自由は、欲望のままに好き放題にするという意味ではありません。それは欲望の奴隷に過ぎません。自由とは、自主的・主体的に自ら考えて行動するということです。

大学は、学生が自主的・主体的に行動できるように、授業の選択の幅を広く設定し、課外活動、インターンや留学など、意欲さえあれば様々なことに挑戦できるようになっています。この恵まれた環境を、ぜひ活用してほしいと思います。

7. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

日本の社会において自由と人権そして公正さが改善されるように、少なくとも、悪化しないように注目してほしいと思います。人類の歴史は、長期的に見れば野蛮な社会から理性的で自由な社会へ進んでいますが、その中では何度も、野蛮な社会・欺瞞に満ちた社会への退行が起こっています。インターネットなどで見たい現実だけを見るのではなくて、社会に広く目を向けるようにしてほしいと思います。

8. 新入生に一言お願いします。

大学時代は、人生の中で、自分の学びたい勉強ができる貴重な時間です。教養や専門をしっかり勉強してほしいと思います。



中島 清貴 (ナカシマ キヨタカ)

大阪大学経済学研究科博士後期課程終了

1. 先生の専門分野は何ですか？

データを使って仮説を検証する過程で、経済現象を解き明かすのが私の専門です。金融関連のデータをよく利用しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

最近、銀行と借入企業のローンレベルデータ（どの銀行がどの企業にどれだけの貸出を行っているかに関するデータ）を利用して、銀行と借入企業の相互依存関係の観点から金融システムの安定化と銀行貸出の問題を研究しています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

1つは家族法が経済活動に与える影響についての研究、もう1つは宗教と経済行動についての相互依存関係についての研究です。前者は日本における少子高齢化問題と関係していると考えております。後者は自分のライフワークとして今もコツコツとやっています。

4. 甲南大学の印象を教えてください。

2008年に赴任してきたのですが、随分と印象が変わっています。赴任当時は大学全体が喧しくて、あまり落ち着きのない学生が多いと思っていました。最近、落ち着きのある、真面目な学生が多い、という印象を有しています。学生や大学の雰囲気は、その時代の経済状況

や社会環境に多分に依存しているのでしょうね。

5. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

「今の私が」、というのであれば経済学の授業は受けたくないです。宗教や哲学の授業ばかり受けているか、そもそも学校には行かずに、自宅でその類の書籍ばかりを読んでいると思います（そうした生活は退職後の私のささやかな夢でもあります）。

6. 大学（生活）の良さを教えてください。

人によって異なると思います。私は、学校に行く、という行為が破壊的に嫌いな人間でしたので、下宿先で書籍ばかり読んでおり、たまに外に出て書籍の内容を整理しながら1人で夜中に徘徊する、といった生活を送っていました。そうした私のような学生にとっては、考える時間が与えられていたことが、大学生生活の良い点であったと言えます。そうした時間を与えてくれたトラック野郎の父に感謝しています。

7. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

「長期経済停滞（Secular Stagnation）仮説」というのが、最近、著名な経済学者によって議論されています。もともと、第2次世界大戦前に提唱されていた仮説なのですが、戦中の軍事支出による景気拡大や戦後の経済復興で先進国の経済が良くなっていく過程で、最近まで忘れ去られていた議論です。先進国に共通して、労働人口が過小化し、実質経済成長率が下方トレンドにある現況から、先進国や世界経済は長期経済停滞に入ってしまったのではないか、という議論が、数十年の時を経て再び脚光を浴びています。本当に、世界経済が「長い氷河期」に入ってしまったかのどうか、という点に注目しています。

8. 新入生に一言お願いします。

「たかが大学、されど大学」です。大学に過度な期待をすることなく、かといって何の価値も無いと斜に構えるのでもなく、皆さん1人1人

にとっての使い勝手なり価値を見出してください.



林 健太 (はやし けんた)

本山第三小 → 本山中 → 報徳学園高 →
神戸商科大学 商経学部 管理科学科 →
大阪大学 大学院 国際公共政策研究科

1. 先生の専門分野は何ですか？

情報通信経済学 (コンテンツビジネス論) ということにしておきます。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

これまで、IT 産業のあり方や課題について、主にハードウェアやインフラの普及という側面から研究をしてきました。現在は、どちらかといえばソフトウェア (コンテンツ) の方に関心があります。とりわけ、観光というものを幅広い意味でのコンテンツの一つと捉えて、日本へのカジノ導入のあり方を探っています。他にもギャンブル依存、スマートフォン依存などについても調査・研究しています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

スポーツビジネス、音楽関連ビジネス、ゲーム業界など、コラボして研究してみたい分野はたくさんありますが、特に e-sports には、大変興味があります。

4. 甲南大学の印象を教えてください。

私にとっては、幼い頃より身近に存在する、親しみのある大学です。学生も素直で接しやすい人が多く、とても働きやすい環境に感謝しています。

5. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

私の担当する「ネットワークエコノミクスⅡ」。理由は、自分が一番楽しんで教えている授業だから。

次点で「統計入門」や「PC 統計学」など、統計系の授業。学生時代によく理解できなかった割に、仕事上必要なことが多いから、改めて勉強したいです。

6. 大学（生活）の良さを教えてください。

4年間という時間を自由に使えることに尽きます。私が大学2年生の時にインターネットが登場してきたのですが、同級生と半ば冗談で、インターネットビジネスの会社を作ろうかと議論したことがあります。残念ながら阪神淡路大震災で立ち消えになりましたが、震災が無ければ、我々が楽天や Yahoo!を作っていたかもしれません（笑）。

7. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

いつ日本にカジノが導入されるのか、ビットコインは世界中で使われるようになるのか、2020年の東京オリンピックまでに車の完全自動運転は実現するのか、火星旅行はいつ実現するのか、人工知能とロボットによって、私たちの仕事が代替されるようになる日はいつ頃来るのか、サッカー日本代表はロシアワールドカップで活躍できるのか、ヴィッセル神戸は天皇杯を取れるのか（執筆時：2017.12.14）、等々。

8. 新入生に一言お願いします。

インターネットで容易に情報が取れる時代だからこそ、あえてコストをかける経験を積んでいただきたいと思います。家から1時間かけて大学に通うのもコスト。新たな人間関係を築くのもコスト。旅行や留学に行くのもコスト。彼氏・彼女に振られるのも、株式投資で失敗するのも、就職面接で赤っ恥をかくのも、全てコストです。

皆さんの大学生活が少しでも豊かになるお手伝いが出来れば幸いです。



平井 健介 (ひらい けんすけ)

慶應義塾大学大学院経済学研究科修了
博士（経済学）

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済史（日本植民地経済史、近代アジア経済史）

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

日本植民地（台湾や朝鮮）の経済を研究しています。これらの地域は日本の政策の下で経済成長したと言われますが、日本の政策に現地社会がどのように対応することで経済成長が可能となっていたのか、他のアジア地域はどのように関係していたのかを分析しています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

植民地経済を支えた「技術」はどこから来たのか。

3. 甲南大学の印象を教えてください。

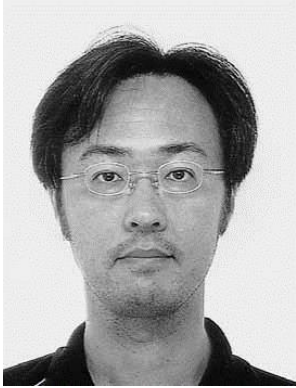
「研究休暇」から2017年10月に復帰した時の印象ですが、「大人が思う学生にとって気持ちの良い」キャンパス、もっとくだけて言えば「お前らこんなんが好きなんやろ」的なキャンパスになったように思います。それでよいのかもしれませんが。

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？
市野泰和先生の入門ミクロ経済学

5. 大学（生活）の良さを教えてください。
「世間知らず」でいられること。

6. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）
これを読んでいるあなたの4年後でしょう。それ以上にあなたが「注目すべきこと」などありません。

7. 新入生に一言お願いします。
大学に入ると新しい「こと」を学ぶ、と考える人がいますが、それは正確ではありません。たくさんの新しい知識も付け加わりますが、より大事なことは方法を学ぶことです（小林康夫・船曳建夫編『新・知の技法』東京大学出版会、1998年、236頁）。



村澤 康友 (むらさわやすとも)

京都大学経済学部卒、同経済学研究科修士課程修了、㈱三菱総合研究所勤務、ペンシルベニア大学経済学研究科博士課程修了、京都大学経済研究所講師、大阪府立大学経済学部助教授・教授を経て現職

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済統計、応用計量経済学

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

景気の計測、インフレ期待の計測

3. 今後してみたい研究は何ですか？

経済学教育の実証研究

3. 甲南大学の印象を教えてください。

キャンパスがきれい (狭いけど)

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

筒井先生のゼミに入りたい

5. 大学（生活）の良さを教えてください。

自由（昔ほどではなくなりましたが）

6. 今後、注目すべきことは何ですか？

北朝鮮の動向

大谷翔平選手と藤井聡太四段の活躍

7. 新入生に一言お願いします。

いろんな経験をして下さい。それが人生の財産です。



森 剛志 (もり・たけし)

1970 年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了(博士号取得)。日本学術振興会特別研究員を経て、甲南大学経済学部教員。主な著書「日本のお金持ち研究」(共著)。

1. 先生の専門分野は何ですか？
家計の経済、健康経済、行動経済
 2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
健康格差。経済格差。人の非合理的な行動
 3. 今後してみたい研究は何ですか？
医療と健康の比較制度分析
-
3. 甲南大学の印象を教えてください。

関西の中堅大学

4. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

筒井先生の講義

5. 大学（生活）の良さを教えてください。

私は、学生時代、タイ・マレーシア・シンガポール・インド・ネパール・アメリカなど世界各地を転々と旅行しました。時間とお金があれば旅をしていました。自分探しをしていたのです。そんな自分の時間が持てる人生で数少ない時期です。それが良さと思います。

6. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

人工知能の目覚ましい発達と高齢者ばかりの世界。

7. 新入生に一言お願いします。

人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを。そして少しの勇気と情熱を！

ハングリーであれ！バカであれ！



森本 裕（もりもと ゆう）

1988年生

京都大学経済学研究科博士課程 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

航空産業と航空政策

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

特に、航空ネットワークの形成を研究しています。近年は、ハブ・スポーク型ネットワークとあって、大規模な空港を中心としたネットワークの形成が進んでいます。中心となるべく、各国の主要空港（例：日本の成田 V.S. 韓国の仁川）が競争しているのですが、競争に勝ち残るにはどうすればいいかを考えています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

今までとはテーマががらりと変わりますが、地域間格差について研究したいと思っています。交通投資（高速道路や新幹線の建設）をすると地方が活性化すると言われていますが、実際には、消費が大都市に流出することもあります。なので、交通網の整備が何を引き起こすのかを過去のデータを使って調査したいと思っています。

4. 甲南大学の印象を教えてください。

キャンパスがきれいというのが印象的です。神戸の大学らしく、全体的におしゃれですね。服装に凝っている学生も多いですね。あとは、カフェが学内にあるのもいいと思います。

5. 甲南大学経済学部生ならば、どの講義を受けてみたいですか？

プロジェクトゼミですね。企業から課題をもらって解決するという、やりがいがある授業です。発表会でコメントをもらうまで、緊張しっぱなしな気もしますが。

6. 大学（生活）の良さを教えてください。

いろいろする時間があることでしょうか。夏休み・春休みが2か月ずつあるので、何かを極めるにはもってこいだと思います。新しいことにチャレンジしてみてください。

7. 今後、注目すべきことは何ですか？

景気の動向にでも着目してみたらどうでしょうか。リーマンショックから10年経って、経済の拡大が続いています。この後、バブルに突き進むのか、あるいは調整を経ながら安定的に成長を続けるのか、注目しておきたいところです。

8. 新入生に一言お願いします。

何か一つ、「自分にしかできないこと」「自分しか知らないこと」を作ってください。NO.1があれば、就活も上手くいくでしょうし、社会人になっても重宝されるでしょう。



新入生への メッセージ



私からオススメする2つのこと

2017年度卒業生

市野ゼミナール 吉岡 勇稀

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。ここまでページを捲って読んでくださるといことは、あなたはきっと真面目な方なのでしょう。そんなあなたに向けて私の大学生活4年間を振り返った上で、私からは2点、ご僭越ながら今後のあなたの役に立つであろうことを伝えたいと思います。

まず1点目は「好奇心と挑戦を忘れないこと」。対象は何でもいいです。ただ、好奇心をもって色々なものに挑戦して欲しいのです。これはあなたの見聞、ひいては可能性を広げてくれるからです。私は異文化を感じるために大勢の留学生に混ざって英語で議論する機会に思い切って飛び込みました。おかげで己の英語力を把握でき、海外への興味を初めて持つことができました。受け身な生き方はつまらないです。積極的に行動してこそ道は開けます。考えるのはとりあえず走り出してからでもいいと私は思います。

2点目は「人とのつながりを大事にすること」です。これからあなたはたくさんの人と関わると思います。その中で、自分から人を遠ざけないでください。関わっていく人の中に必ず、あなたの親友になり得る人、挫けそうなときに支えてくれる人など、人生に彩を加えてくれる存在がいるからです。私にとってゼミの先生もその中の1人でした。

以上、私のオススメを紹介しました。「大学生」としての「今」は、もう二度と帰ってきません。大学生という期間はあなたが歩んできた人生の中で1番自由で何でもできる期間です。あなたがやりたいことは何でもやって下さい。それこそ作家になるために小説を書いてみたり、バンドで成功するために活動したりなんてものでもいいです。誰かがあなたのやることを笑ったり反対したりしても諦めないでください。自分がやりたいならやってください。全力なあなたは誰が見たって素敵ですし、私は尊敬します。

卒業するとき、あなたの学生生活が素敵なもので溢れていますように。

「ようこそ経済学部へ」

2017年度卒業生

寺尾ゼミナール 藤瀬亘平

甲南大学経済学新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この度は、卒業生から新入生へ向けたメッセージとして、文書を書く機会を頂きましたので、少しまとめてみました。

新入生の皆さんは、これからの大学生活をどのように過ごしていくのか、どれくらい決めているのでしょうか。もしすでにある程度決まっていれば、それはとても素晴らしいことです。ぜひ自信をもって、挑戦してみてください。もしまだ決めていなければ、それはとても幸せなことです。なぜなら、これから選択することができるのですから。いずれにせよ、皆さんは、経済学部生としての4年間を迎えることと思います。せっかく学ぶのですから、皆様の大学生活の計画に“経済学”を入れてほしいと、私は願っています。

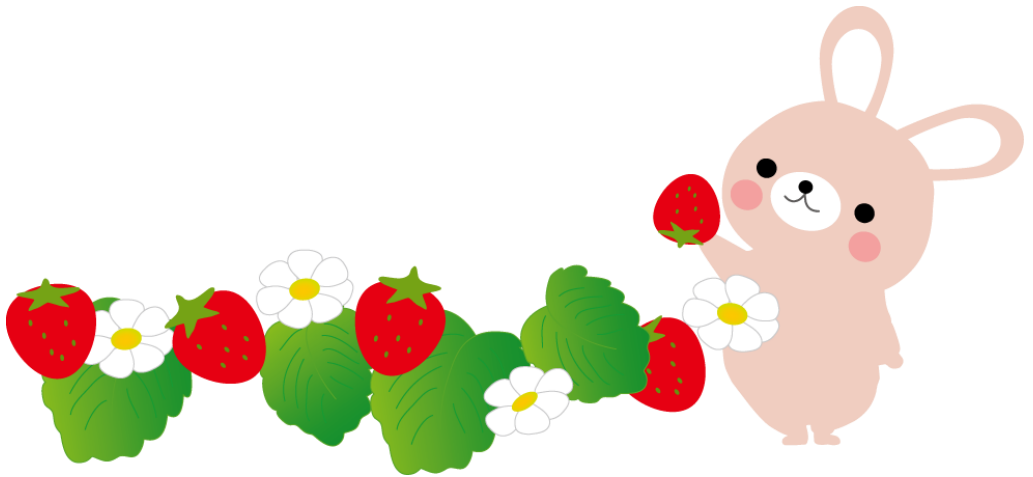
経済学とは、「人」の行動原理を研究する学問です。私は経済学の学びの中で、何気ない行動(選択や決断)も、実は経済学で説明することができるのだと学びました。しかし現実には、経済学で説明できないような行動をするケースも少なくはありません。経済学を学ぶことの意義の一つは、自分の行動の性質を区別できることだと、私は考えます。そして、経済学で説明できないような行動こそ、より重要で、私らしさの表れだと気づきました。何気ない毎日の行動でも、経済学で分析をしてみることによって、「人」のことがわかります。ぜひ皆さんも学習を深め、経済学の意義を感じてもらえたらと思います。

大学の4年間は、イメージしているよりもすぐに終わります。私は3年も無いぐらいの速さだと感じました。ぜひ今から、どのように過ごしていくか、じっくり考えてみてください。

より充実した大学生活を送れますよう、心からお祈りしています。



新入生の
みなさんへ





甲南大学経済学会について

経済学会とは？

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。甲南大学経済学部
に入学した皆さんは、同時に「甲南大学経済学会」の会員となりました。**甲南大学経済学会とは専任教員・経済学部学生・大学院学生**で構成されています。経済学会は、経済学部教員・学生と相互にコミュニケーションをとりながら、皆さんがより良い大学生活を送れるように日々活動しています。

新入生の皆さん、ぜひ大いに活用して下さい。

学生評議員・学生スタッフ

それぞれ役職を決めた、学生評議員と学生スタッフが共同で活動しています。先輩・後輩同士でも気軽に会話ができる、とても和やかな雰囲気です。

定期的に評議員会を開きます。この場では教員評議員・学生評議員が企画内容等について意見を交換します。

主な活動内容

・ 総会

毎年5月下旬に開かれます。今年度の活動方針・予算・評議員を決めるための大切な会です。みなさんの意見を聞くことが目的の1つであるので、「経済学会 会員」は原則出席となっています。

・ 講演会

前年度は前期に株式会社ビジネスリテラシーの神瀬様を、後期に株式会社 i-plug の中野様をお呼びしました。

・ ゼミ紹介（2回生以上対象）

後期から始まるゼミ I を選択する際の参考になります。参加できなかった人は、コモンルームでビデオを見ることができます。

・ 社会見学

工場・会社に見学へ行きます。現場に足を運ぶからこそ学べるものがたくさんあります。前年度は「造幣局」へ行きました。経済学部生であれば誰でも参加できます。

・ 経済学部インナーゼミナール大会

ゼミでの研究成果を発表する大会です。甲南大学経済学会で企画・運営する甲南大学経済学会の最大の行事です。

発表は誰でも見ることができます。2回生から本格化する『ゼミ』を知るためにもぜひ参考にして下さい。

経済学会に興味がある、もっと詳しいことが知りたい!!という方は

まずはコモンルームへ！！

5号館5F(5505)へ来てみて下さい。経済学部生専用のポット・電子レンジ・パソコンがあります。

4月は時間割作成に関する質問にもお答えします。コモンルームに在室している評議員・スタッフに気軽に声をかけて下さい。また、HPもご覧下さい。

http://www.konan-u.ac.jp/hp/econ_keizaigakkai/

開室中は常時ドアを開けています。とてもオープンな雰囲気ですので、ぜひ一度経済コモンルームへ!!

経済学会評議員募集！！

経済学会では一回生の新しい評議員を募集しています。

ここでは経済学会会員がよりよい大学生活を過ごすことができるように、会員代表としてさまざまなサポートを行っています。また、数々の行事を開催しています。

評議員に興味がある方、大学に入って何か挑戦してみたい方、何かを企画、運営することが好きな方はぜひ一度気軽に見学にいらしてください。

興味のある方は一度5号館5階にある
経済コモンルームに！

【経済学会学生懸賞論文 執筆マニュアル】

2016年8月
甲南大学経済学会

I 論文の要件

- (1) 原則、ワープロ書きに限る。
- (2) 書式は、A4用紙、横書き（縦置き）、40字×36行/頁とする。
- (3) 分量は12頁以上20頁以下（題目・目次・図表・アンケート票等の付録類を含む）とする。
- (4) 日本語は明朝（全角）、英数字はTimes New Roman（半角）とし、いずれも10.5ポイントとする。
- (5) 論文は未発表作で、一人一作（共著の場合も含む）とする。

II 表紙

- (1) 表紙に記載することは
 - (a) 題目
 - (b) 目次（章のみ）
- (2) 審査は匿名で行うので、氏名・所属ゼミ名・学年は、表紙及び本文には記載せず、別紙に記入して添付すること。

III 章・節などのナンバリング

- (1) ナンバリングは、以下の方法に従うこと。
 - (a) ローマ数字 [I、II、III、……]
 - (b) 算用数字 [(1)、(2)、(3)、……]
 - (c) ローマ字 [(a)、(b)、(c)、……]
- (例) I 変動相場制下の経営収支均衡と国際資本移動
- (1) 1970年代の経常収支不均衡と国際資本移動
 - (a) 1970年代の経常収支不均衡

IV 脚注ならびに引用

- (1) 脚注の付け方
 - (a) 文章末尾の文字（句読点を除く）の右肩に数字を振り、論文の末尾にまとめて「文末脚注」とする。

(例) 問題は、市外社会から市内社会に支払われるアクセスチャージによって解消している¹。

(b) 脚注の数字の付け方は、算用数字 1、2、3……に統一し、(注 1)、(注 2)、(注 3) ……等としない。

(2) 引用の仕方

(a) 文献から文章等を引用する場合には必ず「 」を付け、著者名・文献名・出版社・出版年〔西暦〕・掲載頁数等について、脚注等で必ず明記すること。文献を要約して引用する場合も同様とする。

(3) 引用した文献の記載の仕方

(a) 書籍の場合

著者名『書籍名』（出版社名、刊行年〔西暦〕、頁）

(例) 宮島洋『税のしくみ』（岩波書店、1992 年、32 頁）

(b) 雑誌に掲載された論文の場合

著者名「論文名」（『雑誌名』、巻・号、頁）

(例) 宮尾尊弘「価格破壊は日本を救うか」（『エコノミスト』、第 72 巻 32 号、30 頁）

(c) 書籍に収録された論文の場合

著者名「論文名」（書籍の編者名・『書籍名』、出版社名、刊行年〔西暦〕、頁）

(例) 上島康弘「第 3 章 格差社会を生むもの」（広田照幸・川西琢也編、『こんなに役立つ数学入門－高校数学で解く社会問題』、2007 年、81 頁）

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」（URL、公表年月〔西暦〕、閲覧年月日）

(例) 青木浩治「国際経済学」（<http://www.eco.konan-u.ac.jp/home/gakkai/index.html>、2010 年 7 月、2016 年 8 月 1 日閲覧）

V 参考文献

(1) 論文作成の際に参照した文献は「参考文献」とする。「参考文献」は、論文・文末脚注の後にまとめる。

(2) 記載の仕方

(a) 書籍の場合

著者名『書籍名』（出版社名、刊行年〔西暦〕）

(例) 宮島洋『税のしくみ』（岩波書店、1992 年）

(b) 雑誌に掲載された論文の場合

著者名「論文名」（『雑誌名』、巻・号）

(例) 宮尾尊弘「価格破壊は日本を救うか」（『エコノミスト』、第 72 巻 32 号）

(c) 書籍に収録された論文の場合

著者名「論文名」(書籍の編者名・『書籍名』、出版社名、刊行年〔西暦〕)

(例) 上島康弘「第3章 格差社会を生むもの」(広田照幸・川西琢也編『こんなに役立つ数学入門―高校数学で解く社会問題』、2007年)

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」(URL、公表年月〔西暦〕、閲覧年月日)

(例) 青木浩治「国際経済学」(<http://www.eco.konan-u.ac.jp/home/gakkai/index.html>、2010年7月、2016年8月1日閲覧)

VI 図・表の記載

- (1) 出典を必ず明記すること(製本の際、原典を印刷するため)。
- (2) 通し番号を必ず付けること(表1、表2、図1、図2等)。

VIII 提出方法

原稿は必ず3部印刷し、経済学会コモンルームに直接提出すること。同時に、原稿の電子ファイルを添付したメールを経済学会コモンルーム(gakkai@center.konan-u.ac.jp)宛に送信すること。

*疑問点や不明点等がある場合には、経済学会コモンルーム

(gakkai@center.konan-u.ac.jp;078-431-4341〔内線3034〕)まで、直接お問い合わせください。

甲南大学経済学会会則

昭和 35 年 2 月 24 日	制定承認
昭和 41 年 12 月 14 日	改正承認
昭和 44 年 10 月 16 日	経済学会集会改正承認
昭和 49 年 5 月 16 日	経済学会総会改正承認
昭和 52 年 5 月 18 日	経済学会総会改正承認
昭和 58 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 2 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 3 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 4 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認
平成 6 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 8 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 9 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 13 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 15 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 16 年 5 月 26 日	経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認

第 1 条 本会は、甲南大学経済学会と称し、事務所を甲南大学経済学部内におく。

第 2 条 本会は、全員加盟を原則とする。甲南大学経済学部の専任教員・学生（EBA 総合コースの学生を除く）・大学院学生・卒業生のうち入会を希望する者、その他本会評議員会において入会を認めた者をもって組織する。会費については以下のとおり。なお、納入した会費は、理由のいかんを問わず返還しない。ただし、学生会員として会費を納めた者で入学を辞退した者についてはこの限りではない。

教 員	年 会 費	5,000 円
学 部 学 生	会 費（在学期間）	20,000 円
大学院学生	会 費（在学期間）	10,000 円

又、卒業生会員の権利および義務については、別に細則を定めるものとする。

第 3 条 本会は、経済学の研究ならびに普及をもって目的とする。

第 4 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究会
2. 学術講演会
3. 甲南経済学論集および経済学学生論集の発行
4. 学会新聞の発行
5. 研究・教育資料の収集・管理
6. インナーゼミナール大会の開催
7. 専任教員研究書刊行助成
8. その他本会の目的を達成するために必要と認める事項

第 5 条 本会の最高議決機関として総会を置く。本会の予算と決算は総会の承認を得なければならない。総会規程は別に定める。

第6条 総会は、本会の事業を運営するために評議員を選出する。評議員会は、経済学部長を含む専任教員8名、学生8名以上20名以下により構成され、任期は1年とする。評議員会規程は別に定める。

第7条 評議員長は経済学部長が兼任する。評議員長は本会を代表し、総会および評議員会を招集する。

第8条 評議員会は互選により次の役員を選出する。

1. 総務委員（教員1名学生1名ないし2名）は、評議員間の連絡・調整にあたり、評議員会の事務を統括するとともに、本会の事業の記録を作成する。
2. 会計委員（教員1名学生1名ないし2名）は、本会の事業経費を管理する。
3. 管財委員（教員1名学生2名ないし3名）は、研究・教育資料の収集を行う。
4. 編集委員（教員2名学生2名以上）は、甲南経済学論集、経済学学生論集、学会新聞等の定期刊行物の編集・発行にあたる。
5. 企画委員（教員2名学生2名以上）は、研究会、学術講演会、インナーゼミナール大会、その他本会の目的を達成するための事業を企画する。

なお、評議員会は必要に応じて会員の中から本会の活動に協力する実行委員を委嘱することができる。

第9条 評議員会は、本会の事業活動を円滑に行うための諮問・連絡機関としてゼミ委員会を招集することができる。

第10条 本会の事業とそれにとりまなう予算の執行を厳正・公平たらしめるべく、教員1名学生1名の監査委員を置く。監査委員は総会において選出され、任期は1年とする。

第11条 本会の経費は、会費・事業収入・寄付金および甲南大学からの助成金をもってこれにあてる。

第12条 本会則は、総会規程第6条に基づいて改正することができる。

総 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
平成 6 年 5 月 25 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 総会は、経済学会会員全員によって構成され、その決議はすべてに優先する。
- 第 2 条 原則として毎年 5 月に定期総会がもたれなければならない。
- 第 3 条 評議員長は、次の場合 2 週間以内に臨時総会を招集しなければならない。
1. 評議員会が必要と認めたとき
 2. 経済学部教員 2/3 以上の要求があったとき
 3. 学生会員 50 名以上の要求があったとき
 4. 卒業生会員 50 名以上の要求があったとき
- 第 4 条 総会は、卒業生会員を除く全会員の 1/5 以上の出席により成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。
- 第 5 条 総会の決議は、出席会員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。
- 第 6 条 経済学会会則の改正は、出席会員の 2/3 以上の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

評 議 員 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
昭和 52 年 5 月 18 日 経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日 経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日 経済学会総会改正承認
平成 22 年 5 月 19 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 評議員会は、経済学会会則に定められた事業の運営を行い、その事業を達成させるために評議員は評議員会に出席するよう努めなければならない。
- 第 2 条 評議員会は、次の事項について総会の承認を得なければならない。
1. 予算および決算
 2. 活動報告
 3. その他評議員会が必要と認めた事項

第3条 評議員長は、原則として毎月1回定期評議員会を招集しなければならない。

第4条 評議員長は、次の場合10日以内に臨時評議員会を招集しなければならない。

1. 評議員長が必要と認めたとき
2. 評議員3名以上が必要と認めたとき
3. 学生会員30名以上の要求があったとき
4. 卒業生会員30名以上の要求があったとき

第5条 評議員会は評議員の過半数をもって成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。

第6条 評議員の決議は、出席評議員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

卒業生会員細則

〔昭和52年5月18日 経済学会総会制定承認
平成20年5月28日 経済学会総会改正承認〕

第1条 甲南大学経済学部卒業生のうち、経済学会への入会を希望する者（以下「卒業生会員」とよぶ）は、氏名、卒業年度、現住所を経済学会評議員会に登録し、「卒業生会員証」の交付を受けるものとする。登録は卒業2カ月前からできるものとする。

第2条 経済学会への入会を引き続き希望する者は、毎年1月から3月末までの間に、登録の更新を行わなければならない。なお、卒業生会員は、現住所の変更をすみやかに評議員会に届け出なければならない。

第3条 卒業生会員は、登録またはその更新の際、会費年4,000円を納入しなければならない。ただし、2カ年以上の登録と会費納入を一括して行うことはできる。入会金納入の義務はない。

第4条 卒業生会員は、経済学会すべての事業に参加し、そのサービスを受けることができる。ただし、卒業生会員は、評議員に就任することはできず、また「総会規程」第4条にもとづいて総会での投票権をもたない。

第5条 本細則は、総会の決議によって改正することができる。